

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.60	
	「3歳未満児保育」	26	4.38	
	「3歳以上児保育」	52	4.42	
	「教育保育の配慮事項」	9	5.00	
	「健康・安全」	23	4.30	
	「子育ての支援」	18	4.33	
	「職員の資質向上」	9	4.33	
計	152	4.43		
総合 評価	<p>職員一人ひとりが子どもの発達や成長をきちんと受け止め、内面理解を図る。また、目標に沿った視点を持ち、育ちにぶれがないか検証することで、保育内容を明確化し、保育の充実に向ける。</p> <p>一人ひとりの職員が専門性を磨き、相互に保育を語り合える安定した関係づくりや環境の攻勢を工夫するなど、研鑽に務めていく。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
子ども・高齢者・障害者満足度の把握	<p>子どもや利用していただいている方が、常に主体的に満足頂いているかの検証・改善と報告</p> <p>定期的に呼びかけと個別の状況確認を行う</p>
保護者等のニーズ等の把握・理解	<p>保護者や家族の声を聞き、満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進</p> <p>行事ごとにアンケートを実施し、満足度の把握と、課題の抽出・改善に努める</p>
地域への見える化・見せる化	<p>地域に対して、法人・施設情報の提供やサービス内容の説明、開かれた（情報開示・提供・公表）仕組みづくりの推進等、地域とのコミュニケーションの強化</p> <p>掲示板を利用して、園内の様子や取り組み内容を掲示する</p>